

福島第一原子力発電所 構内物揚場付近の海面における油の発見について

< 参 考 資 料 >
2022年7月25日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 7月7日午前7時32分頃、発電所構内物揚場付近の海面に油が漏えいしていることを協力企業作業員が発見しました。
- 現場調査の結果、発電所構内物揚場排水路出口に油膜があり、そこから港湾内護岸付近の海面に油が浮遊していることを確認しました。
- 油の拡大防止処置として、港湾内護岸付近に浮遊している油膜の外側にオイルフェンスを設置。また吸着マットにより浮遊している油を回収。また、発電所構内物揚場排水路出口に吸着マットを設置しました。
- 漏えいの原因について調査した結果、発電所構内物揚場排水路の上流近傍に駐車していた油抜き済みのトレーラーから残油が漏えいしていることを確認しました。
- 発電所構内物揚場排水路出口付近に土嚢を設置し、その上流側にある油膜について引き続き吸着マットによる処理を完了しており、海側についても、港湾内護岸付近に浮遊している油膜を含め、吸着マット等による処理を完了しています。
- 7月8日、漏えいが発生したトレーラー近傍にある発電所構内物揚場排水路開口部から排水路出口を繋ぐ暗渠に付着した油について洗浄作業を実施しました。
- 本件は、7月8日に消防署から「油漏えい事象」と判断されています。

<以上、7月8日までにお知らせ済み>

- 7月13日、海面に油膜が浮遊していないことを確認できたため、オイルフェンスを撤去しました。
- 今後、港湾エリアに設置されている使用していない重機について、油抜き・移動等の対策を進めてまいります。

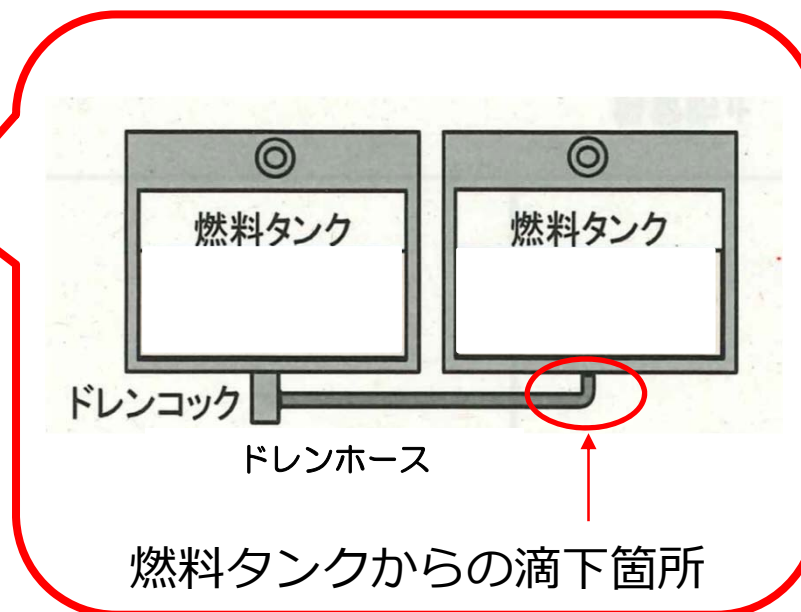
1. トレーラーからの漏油した原因と対策について

○想定原因

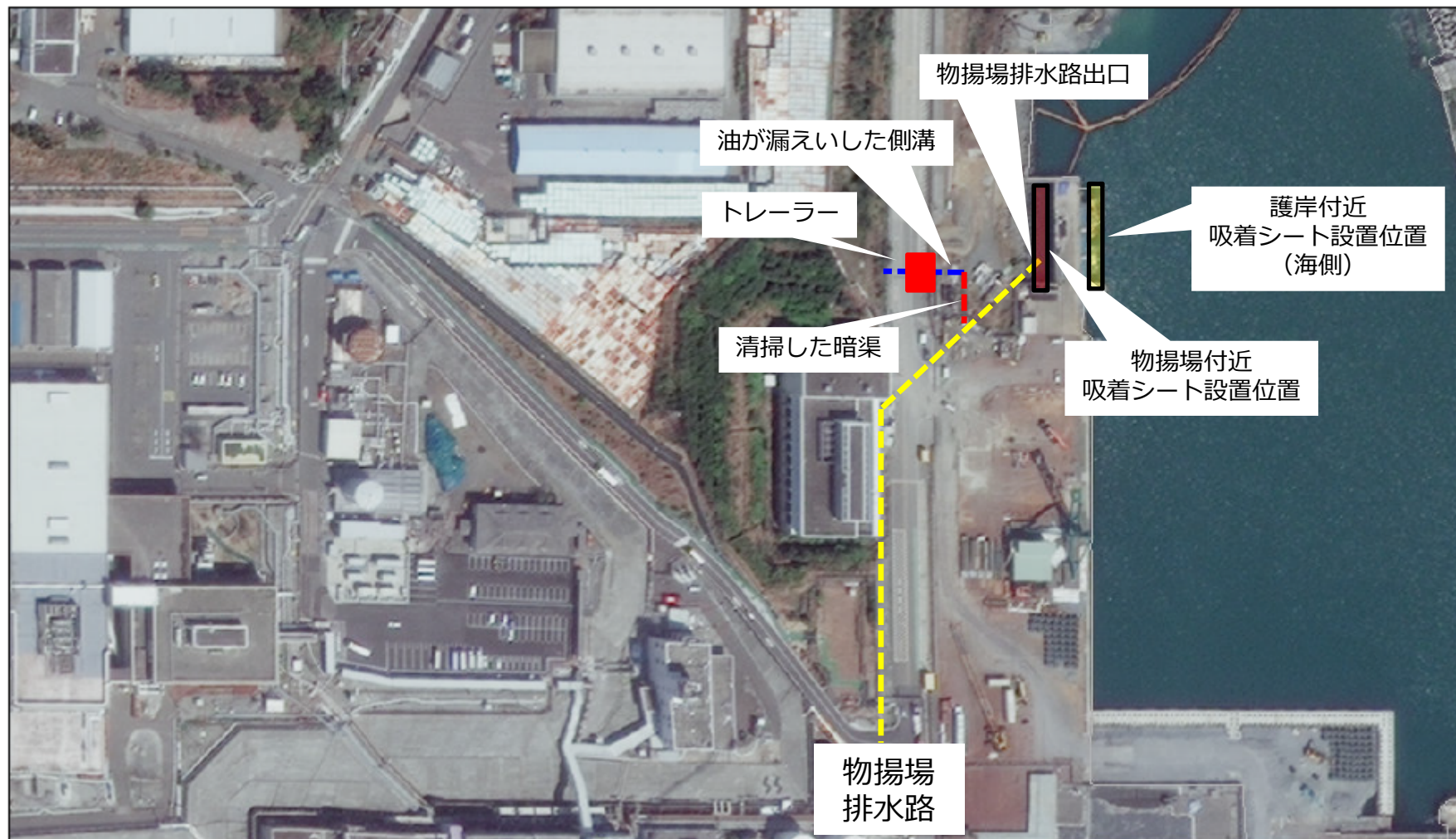
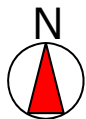
- 当該トレーラーは2022年6月24日に燃料タンク下部のドレンより抜油を実施。
- 抜油後、燃料タンク内に残った残油が大型車両の通行に伴う路盤の振動等により、ドレンホースの接続部から漏えいが発生した。

○対策

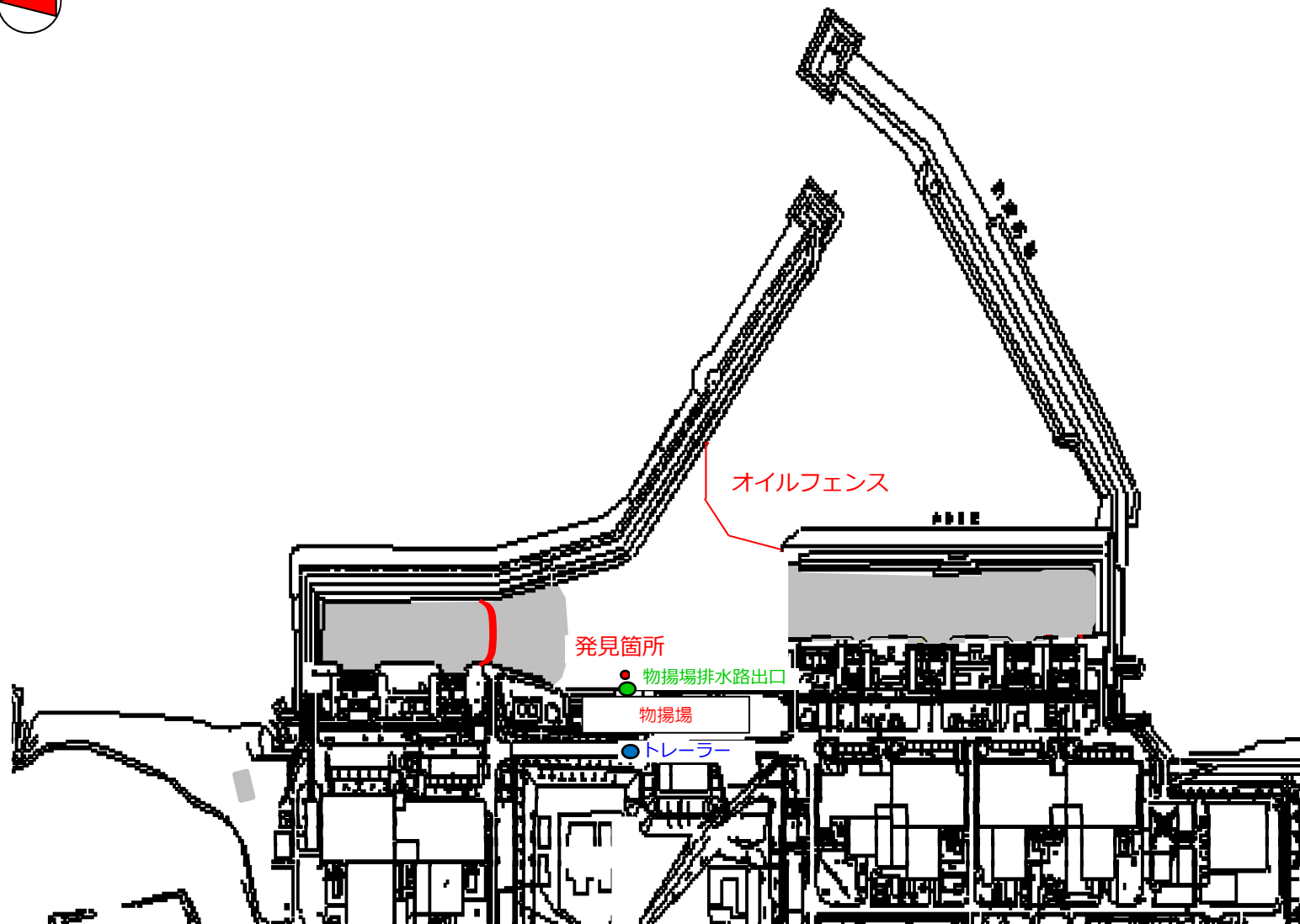
- 当該トレーラー燃料タンク内の残油に対し、油吸着マットによる油抜き取りを実施し、ドレンホースを撤去したうえで、閉止処置を実施した。
- 当該トレーラー燃料タンク下部へ受け容器を設置し、燃料タンクへの雨水対策としてシート養生を実施した。
- 今後、当該車両は港湾エリアから移動させることを計画。
- その他、港湾エリアに設置されている使用していない重機を確認しており、それら重機についても、同様に油抜き・移動等を実施予定です。



【参考】 港湾内護岸付近の状況



【参考】 港湾内護岸付近の状況(オイルフェンス設置位置)



【構内配置図】

【参考】 発電所構内の物揚場排水路上流近傍に駐車していた車両の状況



漏洩した油の状況



トレーラー下部へ受け容器を設置

【参考】物揚場付近吸着シート設置状況



【参考】オイルフェンス設置状況



設置前



設置後

【参考】物揚場排水路開口部清掃状況

